

景観形成状況説明書

エリア	市街地エリア	行為	建築物
-----	--------	----	-----

■実施基準

種別	該当	景観形成基準の内容		色彩
色彩	外壁 基調色	10R～5Yの色相	明度8以上の場合、彩度3以下 明度8未満の場合、彩度5以下	
		その他の色相	明度に関係なく彩度2以下 (無彩色含む)	
	屋根色	10R～5Yの色相	明度6以下、彩度4以下	
		その他の色相	明度6以下、彩度2以下 (無彩色含む)	

使用するマンセル値を
該当欄に記入

■配慮基準

種別	該当	景観形成基準の内容	配慮した内容
形態意匠	配置 及び 形状	○ 地域の景観に調和し、地域の景観的特長の増進に資する配置及び形状とする。	敷地周辺への景観に調和するように、道路から壁面位置を後退させ、圧迫感を抑える配置計画とした。
		○ 既存の樹木・地形その他景観的特長を活かした配置にする。	既存の地形を活かすことで、周辺のまちなみに調和する配置計画とした。
		○ まちなみが形成されている地域における場合には、まちなみとの調和及び連続性に配慮した配置及び形状とする。	周辺の建築物と壁面位置をそろえることで、連続性に配慮した配置計画とした。
		○ 眺望点から稜線など眺望要素への眺望に配慮した配置及び形状とする。	周囲の建築物から突出しないように建築物の高さを抑え、眺望への配慮を行った。
		○ 建築物の規模が大きく、巨大な壁面を生じる場合には、適度な分節、分棟を行うことにより、景観に与える威圧感を軽減する。	素材や色彩、配置等を工夫することで、威圧感を軽減した。
	素材 意匠 色彩	○ 地域の景観に調和し、地域の景観的特長の増進に資する素材・色彩・意匠を用いる。	周辺の景観に調和するように、極力、光沢のある素材を使用することを避けた。
		○ 地域の景観及び既存のまちなみに配慮した色彩とし、突出した印象の色彩を避ける。	景観形成基準に適合する色彩を採用し、周囲のまちなみに調和するように落ち着いた色彩計画とした。
	外構 設備	○ 地域の景観との調和に配慮し、必要な緑化を行う。	敷地周辺に植栽を設け、緑化に努めた。
		○ 柵・塀などを設ける場合には、地域の景観に不調和なものでないこと。	落ち着いた色彩のフェンスを採用した。
		○ 植栽に当たっては、周辺の樹木との調和が得られる樹種とすること。	周辺の樹木と調和する樹種を採用し、周辺景観との調和に努めた。
		○ 屋外駐車場にあっては、外周部や内部に関し積極的に緑化する。	可能な限り植栽を設けた。

■努力基準

種別	実施の有無	景観形成基準の内容	配慮した内容
素材 意匠 色彩	○	建築物の屋根、外壁、その他外部から見える部分については、周囲と調和した色調、デザインに努める。	景観に調和するよう、色彩を抑えた計画とした。
	○	高架水槽、クーリングタワー等の屋上建設設備は、囲いを施す等直接見えない構造とするように努める。	屋上設備を目隠しフェンスで囲い、落ち着いた色彩を採用した。
外構 設備	○	敷地の周囲には植栽や生け垣を設置するように努める。	敷地周辺に可能な限り植栽を設け、周辺のまちなみに配慮した。